

経営理念

Nittoグループの使命 (Mission)、その実現に向けた考え方を示すVision、さらには実践すべき価値観で形作られたThe Nitto Way。これらを体系化したものが、Nittoグループの経営理念です。



Mission

新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。

Nittoグループは、お客様のお役に立つ製品・システム・アイデアを、徹底して追求する姿勢を常に忘れずにいたいと考えています。

直接関わるお客様はもちろんのこと、その先にあるすべてのステークホルダーの方々に、安全と繁栄、快適さ、そして豊かさをお届けすることが、私たちの使命 (Mission) です。

Vision

Creating Wonders

「Mission：新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。」を実現するため、全世界のNittoグループ従業員が持つべき考え方が、「Creating Wonders」です。

一人ひとりが驚きと感動を生み出すことに果敢に挑戦する、すなわち、Creating Wondersを日々実践し、さまざまな分野で世界を変える原動力を生み出し続けていく、これが私たちのビジョン (Vision) です。

The Nitto Way

「The Nitto Way」はNittoグループが目指す未来の姿を実現するために、Nittoグループの従業員が大切にすべきもの・判断基準を示した価値観を明文化したものです。

Nittoグループの全従業員が「The Nitto Way」を理解し、安心・安全に生き生きと働くことで、「Mission：新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。」及び「Vision：Creating Wonders」の実現を目指します。

安全

安全をすべてに優先します。

持続可能性

社会や自然との調和に努め、持続可能な未来を切り拓きます。

多様性と人権

誠実さと謙虚さを大切に、すべての人々の多様性と権利を尊重します。

お客様

地球環境、人類、社会もお客様と捉え、驚きと感動を提供します。

変化の先取り

現場に身を置き、変化を先取る力を磨きます。

チャレンジ

失敗を恐れず、チャレンジし続けます。

三新活動

三新活動を通じ、イノベーションを起こします。

ニッチトップ

ニッチトップ製品をOne-Nittoで創出します。

スピードと完成度

スピーディーに動き、チームワークでやり遂げます。

組織風土

オープン・フェア・ベストで行動します。

自己変革

一人ひとりの成長がチームの成長につながると信じ、自己変革に努めます。

当事者意識

一人称で考え、主体的に行動します。

2022年10月、「The Nitto Way」を改定しました。

CONTENTS

- 1 経営理念/目次・編集方針
- 3 Nittoグループの歩み
- 5 「なくてはならない」Nitto製品

Chapter 01 Vision

- 7 トップメッセージ
- 13 中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」
- 15 価値創造プロセス
- 17 イノベーションモデル

- 19 NittoグループのESG経営
- 21 サステナビリティ重要課題への取組み

Chapter 02 Strategy & Performance

- 25 CFOが語る財務戦略
- 27 CTOが語るR&D戦略
- 31 座談会 (新製品開発への取組み)
- 33 人財
- 35 座談会 (DE&Iの取組み)
- 37 製品安全・品質
- 39 環境

- 43 座談会 (CO₂排出削減への取組み)
- 45 セグメント別戦略

Chapter 03 Governance

- 53 取締役対談
- 57 取締役・監査役紹介
- 62 執行役員一覧
- 63 ガバナンス体制
- 64 取締役会の実効性評価結果
- 65 役員報酬
- 67 新任社外取締役メッセージ

- 68 コンプライアンス
- 69 リスクマネジメント

Chapter 04 Data Section

- 71 10年間の業績概要
- 73 財務諸表
- 75 ハイライト
- 77 株主・株式情報
- 78 社会貢献活動

編集方針

Nittoグループはステークホルダーの皆様へ「社会課題の解決と経済価値の創造の両立」に向けた取組みをお伝えすべく統合報告書を発行しています。

Nittoグループの全体像をご理解いただけるよう、本報告書では成長の軌跡と現在の姿、将来に向けてどのように価値を共創するかについてまとめています。詳細・関連情報につきましては、ウェブサイトで開示していますので併せてご参照ください。

本報告書は日本語および英語で発行しており、ウェブサイトからも閲覧いただけます。

対象範囲

Nittoおよび子会社98社、関連会社4社を含む103社 (2023年3月31日時点)

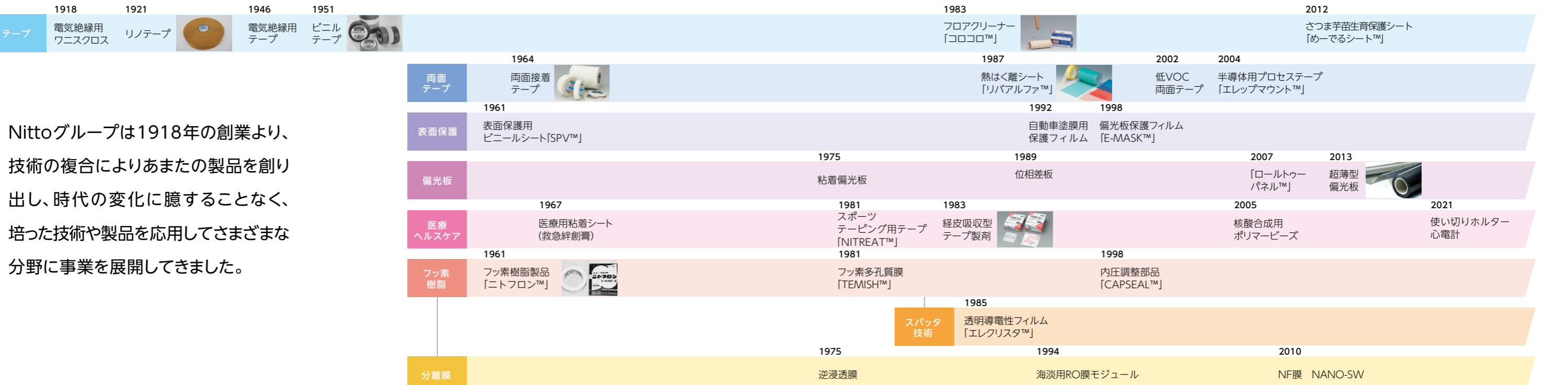
対象期間

2022年度 (2022年4月1日～2023年3月31日) 一部、同期間以外の実績も含まれます。

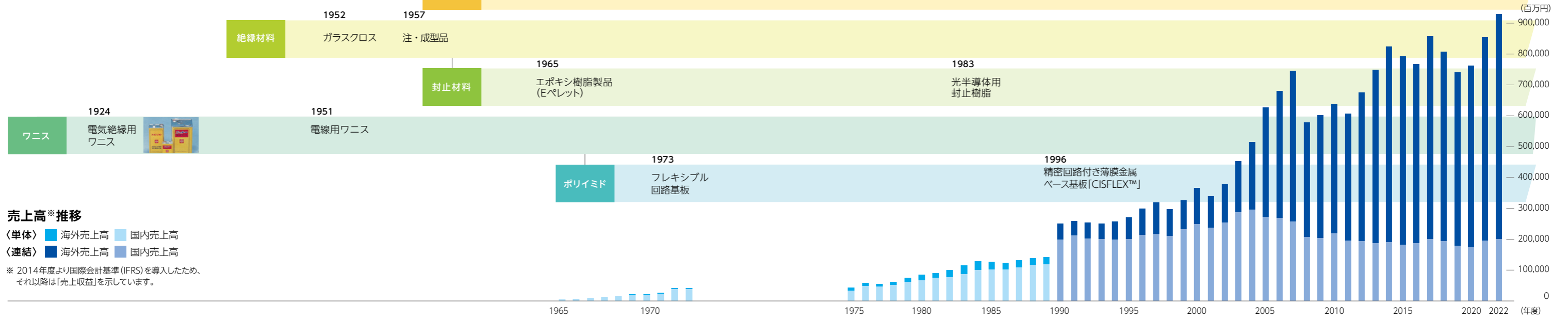
参考ガイドライン

本報告書は、以下のガイドラインを参照しています。
 ・Global Reporting Initiative (GRI)
 GRI対照表 <https://www.nitto.com/jp/ja/sustainability/gri/>
 ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」

Nittoグループの歩み



Nittoグループは1918年の創業より、
技術の複合によりあまたの製品を創り
出し、時代の変化に臆することなく、
培った技術や製品を応用してさまざまな
分野に事業を展開してきました。



売上高※推移
 (単体) ■ 海外売上高 ■ 国内売上高
 (連結) ■ 海外売上高 ■ 国内売上高
 ※ 2014年度より国際会計基準(IFRS)を導入したため、
 それ以降は「売上収益」を示しています。

1918 基礎づくりの時代 | 1946 第2の創業期 | 1961 工業材メーカーとしての出発 | 1974 多核化と海外展開 | 1989 Global Niche Top™戦略 | 2007 Innovation for Customers

東京～絶縁事業基盤づくり

1918年10月25日、「日東電気工業株式会社」を東京・大崎に設立。時代の発展を支えるインフラとして、急速に普及していったのが電気でした。そして、電気設備や電気機械などに利用される電気絶縁材料について、国産化が急務である中、その一翼を担うために誕生しました。

戦後大阪・茨木での再スタート

東京大崎工場を戦災で焼失したものの、戦後大阪の茨木で再スタート。1956年、社は「一品一巻日東の総力、顧客奉仕に貫く日東」を制定。この考えは、現在のブランドスローガンに連綿と引き継がれ、1957年には、現在まで続くNitto独自のマーケティング手法である「三新活動」がスタートしました。

マクセル分離から

1961年、消費財部門マクセルを分離し、工業材メーカーとしてさらなる飛躍を目指しました。1962年、国内の粘着テープ主力拠点となる豊橋事業所の操業を開始しました。1960年代後半には、海外にも進出し日東電工アメリカおよび初の海外生産拠点となる台湾日東電工を設立しました。

医療、エレクトロニクスなどの分野へ進出、海外展開やM&A加速

1973年のオイルショックによる影響を受け、いかなる景気変動にも耐えうる強固な企業体質を目指して多核化を推進。医療分野や膜事業分野に参入、1987年には、米国・ハイドロノーティクス社を買収しました。創立70周年となる1988年、社名を日東電工株式会社に変更しました。

継続的な成長を実現する経営基盤の確立

ダイナミックな市場変化へのスピーディーな対応を図るため、1989年事業部制を導入。1996年には成長するマーケットを見極めて、Nittoが優位性を発揮できるニッチな分野に経営資源を投下しトップシェアを狙う「Global Niche Top™戦略」をスタートしました。

ESGを経営の中心に

2013年、「日東電工」を「Nitto」と表記し、現在の企業ロゴに変更、2014年にはブランドスローガン「Innovation for Customers」を制定しました。2018年、Nittoは創立100周年を迎え、2022年、「Nittoグループカーボンニュートラル2050」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた取組みを加速します。

「なくてはならない」Nitto 製品

Nittoグループは、地球環境や人類・社会を「お客様」と捉え、持続可能な未来と幸福の実現に寄与する「なくてはならない」製品を提供しています。

PlanetFlags™/HumanFlags™(環境・人類貢献製品)に関する詳細はNitto Webサイトをご参照ください。



<https://www.nitto.com/jp/ja/sustainability/infocus/flags/>

HumanFlags

VR用光学フィルム

社会へのインパクト

- ・VR機器の画質を向上し没入感を高める
- ・VRは教育・医療など幅広い分野で社会的活用を期待



高精度基板

社会へのインパクト

スマートフォンの高機能化に貢献



車載ディスプレイ用ガラス飛散防止フィルム

社会へのインパクト

- ・衝突事故時車載ディスプレイのガラス飛散を防止
- ・人体の損傷を軽減する



精密回路付き薄膜金属ベース基板 (CISFLEX™)

社会へのインパクト

- ・データセンターの記憶媒体の大半を占めるHDDに必須
- ・スマート社会で人々の利便性を支える

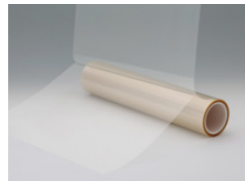


PlanetFlags

バイオマス粘着テープ

社会へのインパクト

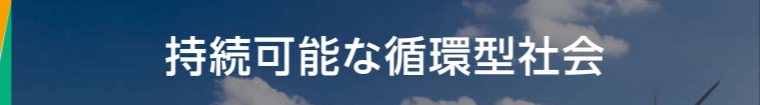
- ・ライフサイクル CO₂排出量 **-45%**
- ・リサイクルフィルムとバイオマス粘着剤で資源循環に貢献



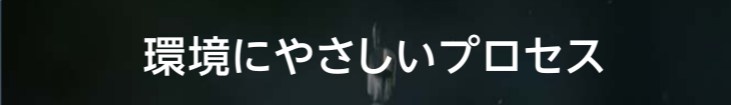
安心で利便性の高い生活



健やかな暮らし



持続可能な循環型社会



環境にやさしいプロセス

HumanFlags

核酸合成用ポリマービーズ NittoPhase™

社会へのインパクト

- ・高純度かつ高収量で核酸医薬の製造に貢献
- ・幅広い核酸種に対応でき、新規核酸医薬創出に貢献



核酸医薬品の原薬製造受託

社会へのインパクト

- ・製薬会社様、創薬企業様の核酸医薬開発を加速
- ・高い製造技術で核酸医薬の普及に貢献



医療用フィルム

社会へのインパクト

安定した品質の医療品を人々に届ける

PlanetFlags

低VOC 両面テープ

社会へのインパクト

- ライフサイクル CO₂排出量 **-41%**
- VOC放散量 **-90%**



ZLD(排水ゼロ化)用途RO膜

社会へのインパクト

- ・排水処理にかかる CO₂排出量 **-63%**
- ・排水を効率的に再利用可能にし、水資源の循環と省エネに貢献

